



須坂市立墨坂中学校 学校だより No. 2

文責：櫻田 智也

「自律した学び」に向けた取り組みを進めています

【二人担任制とローテーション担任制】

学校全職員が業務をできる限り等しく分担し、学年全生徒を支援することや、複数の眼で生徒を支援することにより支援の充実を図ったり、生徒や保護者にとってより相談しやすい環境を作ったりすることを目的として、昨年度から3年生で二人担任制、1・2学年でローテーション担任制を導入しています。

2人の学級担任が情報交換をし合うことで、柔軟な学級経営を行い、複数の眼で見たことを学年で協議することで、よりよい学年経営につながっています。

全学級で二人担任制を行うことが理想ですが、そのための教員数には足りていませんので、1・2学年では、ローテーション担任が入った時のみ二人担任になります。その際は、短学活や給食等で学級担任が2人いることになり、教室内の立ち位置も交互に変わるなどの工夫をしています。ローテーション担任の配置に偏りが生じないように期間を定める等していますが、学年内の実情に応じて臨機応変に配置することもあります。

【墨中授業の3ある】

生徒たちのさらなる学力向上を目指して、今年度から『墨中授業の3「ある」』をどの教員、どの授業でも実践しています。

墨中授業の3ある

- ① 問いや願いがある授業 → 学習問題の板書
- ② 友との対話がある授業 → 対話場面の設定
- ③ 振り返りがある授業 → 振り返りの記入



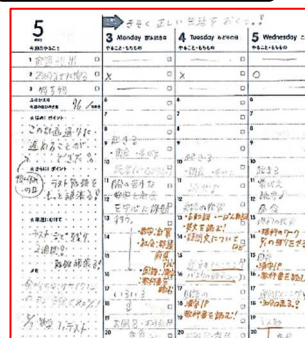
学習問題を生徒と共有



共に学ぶ楽しさを実感

【フォーサイト手帳】

フォーサイト手帳を有効活用することで、生徒が見通しをもって生活したり、目標に向けて自己調整をしたりすることができるように支援しています。手帳を活用して計画的にテストに向けて学習する姿、目標に向けて計画を自己修正する姿が見られるようになってきました。このような手帳の利用は、全国的にも広がっています。



やらされる学習ではなく、自ら学ぶ学習に活用できる点がフォーサイト手帳のよい点です



1学年社会科のアドバンスタイム

【アドバンスタイム】

テスト3日前から、専門教科を問わず、全職員で生徒の学習支援にあたるように、アドバンスタイムという学習相談の時間を設けています。昨年度から15分延長し、今年度は30分程度を行っています。1回目は、昨年度に比べてたくさんの生徒が意欲的に利用してくれました。

次回のアドバンスタイムは、6月28日(月)からの3日間です。

あなたの「杖歌」を教えてください

【校長講話 5月26日：オンラインで実施】

「杖言葉」何と読みますか？

この言葉を知っていますか？自分が生きていく上で支えにしている言葉といえるでしょうか。

「杖歌」何と読みますか？

言葉を歌に替えたものです。つまり、自分が落ち込んだり、人生に悩んだりしたときに聴いて「頑張ろう」と思わせてくれる歌のことです。

きっと中学生のみんなも歌や音楽が好きな人は多いと思います。私もちょうどあなた達と同じ中学生の頃、フォークソングとかニューミュージックと言われた歌がはやり、歌に興味を持ち、ラジオから流れてくる音楽をラジカセで録音したり、そのうち好きな歌手のレコードを買ったりしました。

この写真を見たことある人いますか？



今から10年3ヶ月前に起こった東日本大震災の1ヶ月後の写真です。この少女が手に持っているものは何でしょうか？ トランペットです。彼女の名前はSさん。当時17才。高校3年生になったばかりです。現在27才です。佐々木さんのこの写真に関する新聞の記事を読みます。

～中略～

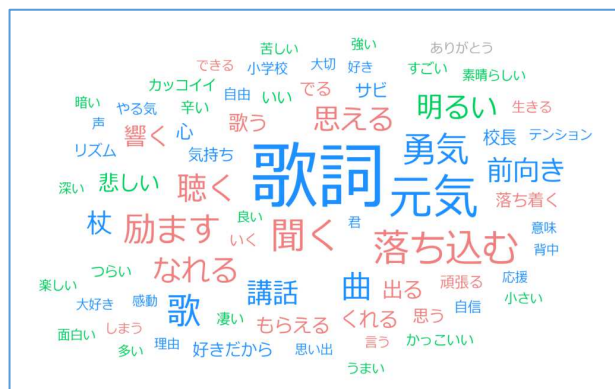
これは実話です。この話からいろんなことが心に迫ります。困難に立ち向かう心、家族愛、友の励まし、温かい支援の輪等々です。

しかし、敢えて、彼女にとってのトランペット、音楽、曲、歌というもの、もっとしげれば彼女にとっての「負けないで」という楽曲は、彼女を支えてくれているものの大きな一つであるように思います。
♪「負けないで もう少し 最後まで 走り抜けて どんなに 離れてても 心は そばにいるわ 追いかけて 遥かな夢を」

Sさんが背負った困難や苦しみ悲しみは、我々のそれとは比べものにならないくらい辛いものであるように思います。しかし、彼女は「負けないで」を心の支えにして、自分の「杖歌」にして、立ち上がり、前に進み出したのではないかと思います。

私達も心に「杖歌」を持ってみてはどうでしょうか。苦しいとき、悲しいとき、辛いとき、トランペットで吹かなくなったらその歌を口ずさめば、きっと勇気や元気ができることもあると思います。あなたの「杖歌」は何ですか？この後、グーグルクラスルームを使って、私のところへ杖歌にしている理由とともに教えてもらえると嬉しいです。

講話後、全校生徒が各自のタブレットPCを使って校長先生に「自分の杖歌」と「杖歌している理由」を送信しました。右のスライドは、その杖歌の理由をテキストマイニングした結果です。（テキストマイニングとは、文字列を対象としたデータマイニングのこと。通常の文章からなるデータを単語や文節で区切り、それらの出現の頻度や共出現の相関、出現傾向、時系列などを解析することで有用な情報を取り出す、テキストデータの分析方法。）



【杖歌の理由テキストマイニング：全校】

学校への入口が広くなりました

4月から5月にかけて行われていた墨坂中学校入口の道路拡幅工事が終了しました。うっすらとしていた「止まれ」の文字や停止線もクリアになり、より安全に生徒の皆さんが登下校できる環境になりました。

これまでは大型バスの乗り入れが難しい面もありましたが、今後の校外行事では多くの場合はバスの乗り入れが可能になると思います。

今回の道路拡幅は、地権者の方のご厚意や市の議員の方々のご尽力をいただいで実現できたものです。感謝の気持ちをもって道路を使用すると同時に、交通ルールを守って安全な登下校をすることも感謝の気持ちを示していきたいものです。また、道路は広くなりましたが、保護者の皆様にも校地内完全徐行等、これまでと同様に安全面でのご協力をお願いいたします。



オンラインで壮行会

6月4日(金)に壮行会を行いました。当初は、昨年同様密を避けて中庭で行う予定でしたが、あいにくの雨天のため雨天案での実施となりました。

3年生の選手は応援団の待つ体育館に入場し、応援生徒は教室でリモート参加しました。今回は、本校初の試みとして、教室の様子を体育館で見られるようGoogleミートを使って双方向のオンライン開催にしました。

これまでにない形式の壮行会でしたが、選手の堂々とした姿、熱のこもった応援団の全力応援は、墨坂中学校の伝統が引き継がれている姿であったと感じます。

校長先生からは「勝ったら静かに帰ってきなさい。負けても堂々と胸をはって帰ってきなさい」というお話がありました。既に大会のあった運動部もありますが、墨中健児の活躍を全校生徒一丸となって応援しています。



いじめ防止について

現在、「いじめ」については、いじめ防止対策推進法で「児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう」と定義され、学校、教職員、保護者の責務についても明記されています。そして、社会全体がいじめを広い定義で捉え、いじめに対して抜け落ちがなく防止していくこととなっています。

本校でも、墨坂中学校ホームページに掲載してあるいじめ防止 等基本方針に則し、いじめが起きにくい学校・学級づくり、開かれた人間関係づくりを推し進めます。保護者の皆様にも、ご理解・ご協力をいただきたく存じます。宜しく願いいたします。

非違行為撲滅に努めます

本校は、非違行為0（ゼロ）宣言校（HIT防止宣言校。H：非違行為防止 I：いじめ防止 T：体罰・パワハラ・セクハラ厳禁）です。毎月、全職員で、「子どもと教師・学校を守る安全点検～わたしの心と行動チェック～」を行い、非違行為の撲滅に努めていきます。また、校内ルールとして、次の「墨坂中学校教職員生徒対応マニュアル」を職員で周知徹底していきます。

【学校ルール】

- （1）児童・生徒と教室や研究室等で外から見えない状態で1対1にならない。相談等ではドアを開放したり、複数で相談に応じたりする。やむを得ない場合は校長等に連絡の上、指定された場所で行う。
- （2）教室、研究室、その他諸室の管理等を適正に行う。
ドアの小窓などにポスター等の掲示物は貼らず、外から誰もが見えるようにする。
ドアの小窓の設置等が難しい室は、室管理者を教頭等管理職とし、随時、使用状況等を確認する。部屋を1人の教職員が管理しないよう鍵の複数化や職員室等での保管をする。
- （3）生徒との私的な電話、メール、SNS等によるやり取りや校外での個別の指導はしない。
- （4）児童・生徒の身体へは、安全確保等社会通念上認められるもの以外、接触しない。
- （5）教育目的外はもちろん、教育目的でも不必要な児童・生徒の撮影や録画をしない。
- （6）生徒を自分の車で送迎することはしない。
- （7）教育目的外で児童・生徒に性に関することを話題にしたり、質問したりすることはしない。
- （8）わいせつ行為が疑われるときはもとより、室管理が不適正であったり、指導方法が不適切と感じたりするときは、躊躇することなく校長等に報告する。あるいは、校内相談窓口又は校外通報・相談窓口へ連絡をする。

【校外・通報相談窓口】

- ①学校生活相談センター 電話番号：0120-0-78310「なやみいおう」（無料）24時間受付
メールアドレス：gakko-sodan@pref.nagano.lg.jp
- ②子ども支援センター〔月曜日～土曜日 10：00～18：00（日曜日・祝日・年末年始は休み）〕
子ども専用ダイヤル：0800-800-8035（無料） 大人用ダイヤル：026-225-9330